

AE剤（Ⅰ種）

AE-200

AE-200 は、JIS A 6204「コンクリート用化学混和剤」AE 剤（Ⅰ種）に適合し、コンクリート中に所要の空気量を連行するための空気量調整剤としてレディーミクストコンクリートからコンクリート製品まで幅広くご利用になれます。

特長

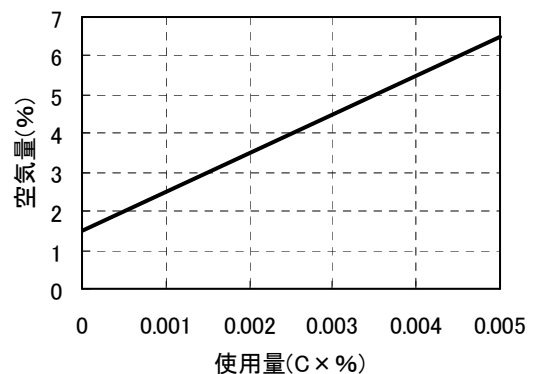
- 微細で安定した空気泡を連行します。
- ポールベアリング効果によりワーカビリティを改善します。
- 凍結融解抵抗性を向上させます。

主成分・物性

主成分	外観	密度 (g/cm^3 , 20°C)
アルキルエーテル型陰イオン界面活性剤	淡黄色液状	1.02～1.06

使用量・使用方法

- 空気量を 1% 増加させるための AE-200 の使用量の目安は、セメント質量に対して 0.001% (1A) です（右図参照）。ただし、使用材料や配（調）合、練混ぜ条件等により空気連行性は異なりますので、状況に応じて使用量を増減して下さい。
- なお、原液のままでは計量値が微量となって計量が困難な場合は、10～100 倍程度に希釈してご使用下さい。



JIS A 6204「コンクリート用化学混和剤」による性能試験結果(例)

項目		AE 剤 (I 種)	
		JIS A 6204 による規定値	試験値
減水率 (%)		6 以上	8
凝結時間の差 (分)	始発	-60 ~ +60	+15
	終結	-60 ~ +60	+10
圧縮強度比 (%)	材齢 7 日	95 以上	100
	材齢 28 日	90 以上	99
長さ変化比 (%)		120 以下	100
凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)		60 以上	93
塩化物イオン (Cl ⁻) 量 (kg/m ³)		0.02 以下	0.00
全アルカリ量 (kg/m ³)		0.30 以下	0.00

使用上の注意事項

- 混和剤の使用量は、所定のコンクリートが得られるよう試し練りにより決定して下さい。
- 使用量を誤って使用した場合、適正なコンクリートが得られない場合があります。

取扱い上の注意事項

- 取扱い時には、保護メガネ、保護手袋等、保護具を着用して下さい。
- 目に入った場合は、清澄な水でよく洗浄した後、ただちに医師の手当てを受けて下さい。
- 服用は絶対に避け、万一誤飲した場合には胃の内容物を吐かせ、速やかに医師の手当てを受けて下さい。
- 作業後は、手指や製品に触れた部分を水でよく洗浄して下さい。
- 詳細な内容が必要な場合は、当社の安全データシート (SDS) をご覧下さい。

荷姿

- 18kg 缶

竹本油脂株式会社

本社・研究所	〒443-8611	愛知県蒲郡市港町 2-5	TEL.0533-68-2118	FAX.0533-68-1339
東京営業所	〒104-0032	東京都中央区八丁堀 3-20-5 S-GATE 八丁堀 3F	TEL.03-3553-6912	FAX.03-3553-6920
大阪営業所	〒541-0054	大阪府大阪市中央区南本町 4-5-20 住宅金融支援機構・矢野ビル 9F	TEL.06-6243-3306	FAX.06-6243-3347
九州営業所	〒812-0013	福岡県福岡市博多区博多駅東 2-8-10 東福第三ビル 2F	TEL.092-431-4355	FAX.092-473-8605